

水戸市文化財保存活用地域計画【茨城県】

【計画期間】令和8～15年度（8年間）【面積】217.32km²【人口】約26.6万人

【関連制度】日本遺産「近世日本の教育遺産群－学ぶ心・礼節の本源－」（平成27年度）

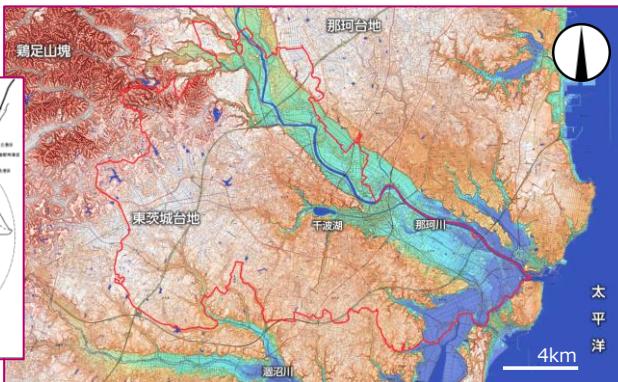
【関連計画】水戸市歴史的風致維持向上計画
(第2期/平成31～令和10年度)

水戸市マスコットキャラクター

みどちゃん



水戸市の位置

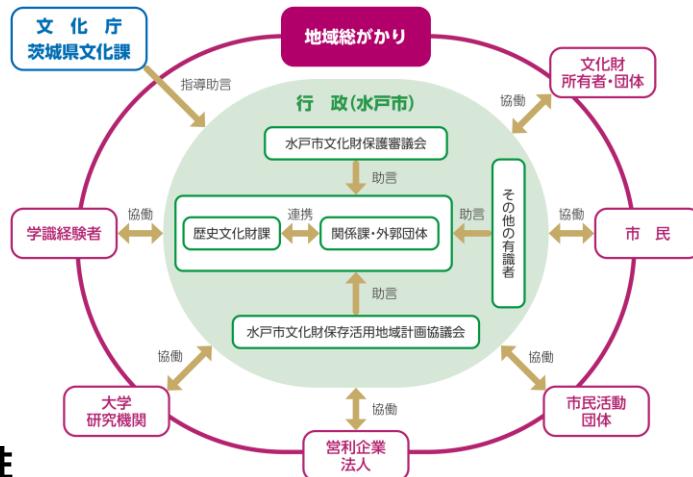


種類	国指定・選定	国選択	県指定	市指定	国登録	合計	
有形文化財 美術工芸品	建造物	5	—	6	13	4	28
	絵画	0	—	14	9	0	23
	彫刻	1	—	9	13	0	23
	工芸品	2	—	24	20	0	46
	書跡・典籍	0	—	4	2	0	6
	古文書	0	—	0	1	0	1
	考古資料	1	—	4	10	0	15
	歴史資料	1	—	2	16	0	19
	小計	10	—	63	84	4	161
無形文化財							4
民俗文化財	有形の民俗文化財	0	—	0	0	0	0
	無形の民俗文化財	0	1	3	4	0	8
記念物	遺跡(史跡)	6	—	3	12	0	21
	名勝地(名勝)	1	—	0	0	0	1
動物・植物・地質鉱物(天然記念物)							9
文化的景観							0
伝統的建造物群							0
合計		18	1	69	112	4	204

指定等文化財 件数一覧

指定等文化財は204件
未指定文化財は4,060件把握

推進体制



歴史文化の特性



水戸の歴史

特性1 「水」ではじまる水戸の歴史

水戸の大地をくまなく流れる「水」は、先人たちと共にあり、水と深く関わる歴史文化が各時代に形成された。



農業にあり

特性2 繁栄の源は農業にあり

肥沃な大地を基盤として発達した農業は、集落遺跡、古墳、城館、戦争遺跡など、多様な歴史文化を育み、本市の繁栄の源となった。



発展したまち

特性3 茨城の真ん中で発展したまち

水戸市は茨城の中央に位置することから、政治や経済の中心都市として発展し、官衙や城郭をはじめ、産業や戦争関連の文化財も多く伝わった。



副将軍

特性4 水戸家は天下の副将軍

御三家水戸藩による治世は、その後の本市の歴史文化に大きな影響を及ぼし、徳川光圀・斉昭をはじめ水戸家関連の文化財が多く伝わった。



－信仰と祈りの歴史文化－

特性5 願いよ届け－信仰と祈りの歴史文化－

信仰と祈りは人々の心の拠り所となり、寺院、神社、仏像等の宗教遺物、祭礼など、豊かな歴史文化を育んだ。





とも とも さきかけ

将来像 文化財を偕に楽しみ、偕に伝える ~歴史文化を生かした魅のまちづくり~

基本方針	課題	基本施策	措置の例
基本方針1 【調査研究発信】 偕に知る	・価値ある文化財を調査・研究し、市民と共有していく必要がある。 ・近世日本の教育遺産群の価値を調査・研究し、市民に発信していく必要がある。等	1-1 文化財の調査・研究と価値の発信 1-2 近世日本の教育遺産群の調査・研究 1-3 効果的な文化財の情報発信	1-2-1 世界遺産登録に向けた取組の推進 近世日本の教育遺産群の世界遺産登録に向け、比較研究や包括的保存管理計画の策定など、調査・研究を推進する。 ■行政/所有/市民/民間/専門 ■R8~15
基本方針2 【保存】 偕に守る	・文化財を指定・認定し、保存を図っていく必要がある。 ・強靭な文化財防災体制を市民協働により築き上げていく必要がある。等	2-1 文化財指定等による保存の充実 2-2 歴史・自然景観の保全・形成 2-3 文化財の性質に応じた多様な保存措置 2-4 デジタル技術による文化財の保存 2-5 文化財の防犯・防災体制の強化	2-5-1 文化財防災マニュアルの策定 災害発生時に文化財の被災を防ぐため、文化財防災マニュアルを策定し、市民と共有する。 ■行政/専門 ■R8~15
基本方針3 【活用】 偕に生かす	・楽しめる交流拠点づくりを進めていく必要がある。 ・日本遺産を活用した地域の活性化を図る必要がある。 ・水戸の誇る多様な文化について、更なる活用を図る必要がある。等	3-1 水戸ならではの歴史まちづくりの推進 3-2 文化財を生かした交流拠点づくり 3-3 日本遺産を生かした魅力発信 3-4 水戸らしさを伝える文化財の活用 3-5 博物館活動の推進 3-6 歴史を生かした平和事業の推進	3-4-2 水戸発祥のオセロの普及・啓発 各種オセロ大会・講座・イベントの開催、大規模大会の誘致に取り組みながら、文化としてのオセロを市民に定着させるため、幅広い世代へ向けたオセロの普及・啓発に努める。 ■行政/市民 ■R8~15
基本方針4 【人づくり】 偕に育てる	・郷土愛の醸成を図る機会を提供していく必要がある。 ・文化財を生かした学びの機会を提供するとともに、文化財の担い手を確保していく必要がある。等	4-1 文化財を生かした子育て、学校教育の推進 4-2 文化財を生かした生涯学習の推進	4-2-7 水戸市郷土民俗芸能のつどいの開催支援 (一社)水戸市民俗芸能団体協議会が主催する「水戸市郷土民俗芸能のつどい」の開催支援を通して、民俗芸能の魅力を広く発信する。 ■行政/民間 ■R8~15
基本方針5 【推進体制】 偕に歩む	・文化財の諸施策を適切に推進する体制を維持していく必要がある。 ・文化財の保存・活用のための多様な資金調達に努めていく必要がある。等	5-1 文化財の適切な推進体制の充実 5-2 地域と協働した推進体制の充実 5-3 保存・活用のための財源確保	5-1-4 博物館の適切な施設管理 博物館収蔵資料の保存・活用に影響が生じないよう、個別管理計画(長寿命化計画)に基づき、施設の予防保全及び事後保全を適切に実施する。 ■行政 ■R8~15

【措置の取組主体の凡例】 ■行政：水戸市/ ■所有：文化財所有者・団体/ ■市民：市民、市民活動団体/ ■民間：営利企業、法人/ ■専門：大学、研究機関、学識経験者



五つの関連文化財群

関連文化財群の設定に際しては、第3章で掲げた五つの歴史文化の特性がストーリーとしても理解がしやすく、関連する文化財も多いことから、これを**五つの関連文化財群**として設定する。

関連文化財群1 「水」ではじまる 水戸の歴史

ストーリー：水戸の大地をくまなく流れる「水」は、先人たちと共にあり、水と深く関わる歴史文化が各時代に形成された。

構成文化財：大串貝塚出土遺物、千波湖など65件



PICK
UP

関連文化財群3 茨城の真ん中で 発展したまち

ストーリー：水戸市は茨城の中央に位置することから、政治や経済の中心都市として発展し、官衙や城郭をはじめ、産業や戦争関連の文化財も多く伝わった。

構成文化財：台渡里官衙遺跡群、旧茨城県庁舎など66件



ストーリー：御三家水戸藩による治世は、その後の本市の歴史文化に大きな影響を及ぼし、徳川光圀・斉昭をはじめ水戸家関連の文化財が多く伝わった。

構成文化財：安神車、水戸黄門まつりなど82件

関連文化財群5 願いよ届け —信仰と祈りの歴史文化—

ストーリー：信仰と祈りは人々の心の拠り所となり、寺院、神社、仏像等の宗教遺物、祭礼など、豊かな歴史文化を育んだ。

構成文化財：六地蔵寺所蔵典籍・文書、常磐共有墓地など68件



水戸市文化財保存活用地域計画【茨城県】

関連文化財群3 茨城の真ん中で発展したまち

ストーリー

本市は茨城県の中央に位置し、古代から政治・社会・経済の中心地として発展してきた。古代には台渡里官衙遺跡群が常陸国那賀郡の郡家として地域支配の中心となつた。中世になるとその中心は水戸城に移り、大掾氏、江戸氏、佐竹氏が城主となり城域を拡大していった。近世になると、水戸城と城下町は更に拡大され、常陸国の中核地としての地位を確立した。武家地とともに町人地も整備され、現在も続く伝統産業が生まれた。

さらに、水戸彰考館や弘道館は学問・教育施設として全国的にも名を馳せ、全国屈指の教育先進藩として知られる水戸藩の教育的伝統の中心地となつた。

近代以降も旧城下町は中心市街地として栄え、旧茨城県庁舎、泉町会館、水戸芸術館、水戸市民会館など、各時代の特徴的な建造物が立ち並んでいる。また、現在の茨城大学周辺には陸軍衛戍が設置され、本市は軍都としての性格も帯びた。水戸空襲による被災遺構や戦争関連の文化財も多く存在し、戦争の記憶が語り継がれている。

構成文化財



類型	No.	名称
有形文化財	1	旧水戸城薬医門
	2	祐月本店蔵
	3	水戸市民会館
	4	旧川崎銀行
	5	泉町会館
	6	茨城県庁舎
	7	水戸芸術館
	8	大工町文番
	9	旧中島商店
	10	水戸駅上りホーム運転台所
	11	水戸駅前からくり時計
	12	水戸地方気象台
	13	旧茨城県庁舎
	14	大手橋
	15	水府橋
美術工芸品	16	水戸市鳥瞰図原図
	17	水戸駅前炎上図
	18	水戸御用留
	19	水戸町方御用留
	20	台渡里官衙遺跡出土銅印
	21	台渡里廣寺跡南方地区第1号工房出土資料
	22	水戸城二の丸角櫓出土鬼瓦
	23	台渡里廣寺跡出土遺物
	24	七面製陶所跡第1～3次出土遺物
	25	水戸城跡出土一括理納銭
考古資料	26	水戸城跡出土遺物
	27	木村家住宅 水戸空襲遺構(附焼夷弾1点)
歴史資料	28	空襲予告ビラ
	29	焼夷弾(水戸投下分)
	30	水戸城下絵図
	31	水戸案内
	32	水戸拓版本
	33	水府提灯
	34	旧弘道館
	35	台渡里官衙遺跡群(台渡里官衙遺跡・台渡里廣寺跡)
	36	水戸城跡(堀及び濠)
	37	水戸神社跡

類型	No.	名称
有形文化財	38	空襲予告ビラ
	39	焼夷弾(水戸投下分)
	40	水戸城下絵図
	41	水戸案内
	42	水戸拓版本
	43	水府提灯
	44	旧弘道館
	45	台渡里官衙遺跡群(台渡里官衙遺跡・台渡里廣寺跡)
	46	水戸城跡(堀及び濠)
	47	水戸神社跡
	48	歴史の道 近世那須道
	49	歴史の道 近世宇都宮道
	50	七面製陶所跡
	51	水戸鉄錆所跡
記念物	52	金神町遺跡
	53	陸軍衛戍跡
	54	歴史の道 近世飯沼道
	55	歴史の道 近世岩城相馬道
	56	歴史の道 近世棚倉通・南郷道
	57	囲裏窓跡
	58	大鏡町遺跡
	59	東組遺跡
	60	柳堤跡
	61	水戸城惣構
考古資料	62	江戸(水戸)街道宿場跡
	63	江戸街道起点
	64	弘道館記碑
	65	水戸黄門まつり
	66	弘道館
石造物	67	水戸金工
	68	水戸黒
	69	水戸の武道具
	70	水戸彫
	71	水戸城大手門・二の丸角櫓と白壁塀
特産品	72	戦争の記憶 水戸空襲
	73	茨城県庁展望台からの眺めと茨城県庁舎
	74	水戸城大手門・二の丸角櫓と白壁塀
	75	水戸市役所本庁舎
	76	ハミングロード
その他の文化財	77	中心市街地のまちなみ
	78	宮下銀座
	79	戦争の記憶 水戸空襲
	80	茨城県庁展望台からの眺めと茨城県庁舎
	81	水戸城大手門・二の丸角櫓と白壁塀
戦争の記憶	82	水戸市役所本庁舎
	83	ハミングロード
	84	中心市街地のまちなみ
	85	宮下銀座
	86	水戸の景観
水戸の景観	87	コンクリート法線に覆われた水戸城土塁
	88	市立博物館における紙芝居の上演
	89	紙芝居
	90	紙芝居
	91	紙芝居

水戸市文化財保存活用地域計画【茨城県】

課題

- 本ストーリーは水戸城跡(堀及び濠)など、景観との関わりが深く、こうした水戸ならではの歴史・自然景観を将来の世代に伝えていく必要がある。
- 本ストーリー及び構成文化財は、水戸空襲に関する予告ビラや戦争の記憶など、戦争にも関連している。戦争経験者が高齢化していく中、戦争の記憶を継承し、平和の尊さを伝えていく必要がある。

方針

- 風致地区や景観ガイドライン等による規制や誘導を適切に推進するとともに、森林や水辺環境の保全・形成を推進する。
- び～すプロジェクト等により、ストーリー及び構成文化財を生かした平和事業を推進する。

主な措置

- 2-2-5 水戸城土塁(法面)の整備**
急傾斜地の崩落対策を講じるとともに、水戸城にふさわしい景観形成を図るため、土塁(法面)整備を実施する。
 - 行政 ■R8～15
 - 3-6-3 び～すプロジェクトの実施**
多角的な平和事業を展開するため、市内博物館が連携する「び～すプロジェクト」を推進する。
 - 行政/市民/民間 ■R8～15
- 【措置の取組主体の凡例】 ■行政：水戸市/ ■所有：文化財所有者・団体/ ■市民：市民・市民活動団体/ ■民間：営利企業、法人/ ■専門：大学、研究機関、学識経験者